



## 「家庭」についての教会公文書の紹介開始について

カトリック広島教区では、2014年度～2016年度の3年間の宣教司牧サブテーマが「家庭へのチャレンジ」です。

そこで平和の使徒推進本部では、「家庭(家族も含む)」にかかわる教会公文書の一部をホームページで紹介することにいたしました。

ホームページ上で紹介する頻度は毎週1回を目安に掲載いたしますので、広島教区民の皆様、テーマへのヒントとしていただければ、幸いです。

ホームページを閲覧できない方のため、「推進本部だより」を月1回発行し、紹介した公文書1ヶ月分の要約等を紹介する予定です。

### 紹介予定している教会公文書

- ①聖書
- ②第二バチカン公会議公文書 改訂公式訳(カトリック中央協議会)
- ③カトリック教会のカテキズム(カトリック中央協議会)
- ④教会の社会教説綱要(カトリック中央協議会)
- ⑤使徒的勧告 家庭(カトリック中央協議会)
- ⑥ローマ教皇文書(説教・演説・祈り等)(カトリック中央協議会)
- ⑦NICE2 家庭と宣教(1994.03.24)(カトリック中央協議会)
- ⑧第13回シノドス通常総会文書(カトリック中央協議会)
- ⑨第3回シノドス臨時総会文書(カトリック中央協議会)

## 6月紹介公文書

「家庭は、社会の生きた原細胞たる使命を神から受けている。(信徒使徒職に関する教令11, 第二バチカン公会議改訂公式訳 p.434-436)」とし、家庭での使徒職の活動例として①保護者のいない子を養子にすること②外国人を親切に受け入れること③学校運営の支援④青少年への助言と援助⑤婚約中の男女がよりよい結婚の準備ができるよう手助けすること⑥信仰教育の手伝い⑦物質的あるいは道徳上の危機にさらされている夫婦や家庭の支援⑧高齢者の生活必需品をあてがうだけでなく経済の進歩がもたらす利益に公平にあずかせるようにすることが挙げられています。

また、カトリック教会のカテキズムには、家庭の本性として「結婚および家族というものは、夫婦の幸せや子どもの出産と教育とを目指すものです。」(2201 p.648-649)とされています。神が天地創造して神の似姿として男と女を造り、一緒におられることを望まれたことから家庭がはじまりました。

### その他紹介した公文書箇所

- ①209(第五章 家庭——社会の生きた細胞 — 最初の自然な社会である家庭, 教会の社会教説綱要 p.181)
- ②17 家庭よ、本来の姿になりなさい(第三部キリスト者の家庭の役割, 教皇ヨハネ・パウロ二世使徒的勧告 家庭 p.34-36)
- ③369 男女の平等も相違も神の望みによる(カトリック教会のカテ

キズム p.109)

- ④371,372,373「相互のため」——  
「二人は一体」(カトリック教会のカテキズム p.109-110)

### ローマ教皇のことは



ローマ教皇フランシスコは、2014年6月18日におこなわれた一般謁見演説から「教会

について」の連続講話をはじめられました。その中でこう述べられました「(教会は)聖職者やバチカンだけに限定されるものでもありません。「教会はこう考えます」と言いますが、わたしたちみんなが教会です。「誰のことでしょう」「司祭のことでしょうか」。司祭は教会の一部にすぎません。わたしたちみんなが教会です。教会を司祭、司教、教皇庁などに限定しないでください。彼らは教会の一部です。わたしたち全員が教会であり、母なる教会のすべての家族です。」(カトリック中央協議会訳)。

### 主な教会暦(主日を除く)

- 7月01日 福者ペトロ岐部司祭と187殉教者(記念日)  
7月03日 聖トマ使徒(祝日)  
7月25日 聖ヤコブ使徒(祝日)

### 平和の使徒となろう

